

All that the

入替戦

Vol. 1

編集：GO ONプロジェクト

入替決定方式

日体大(1部8位)VS専修大(2部1位)

<日体の勝>

日体は1部に専修は2部にそれぞれ残留

<専修の勝>

日体は2部に降格、専修は1部に昇格

<引き分け>

再試合(来週中に西が丘にて開催)

<再試合・再度引き分け>

日体は1部に専修は2部にそれぞれ残留

明治大(1部7位)VS東農大(2部2位)

<明治の勝>

明治は1部に東農は2部にそれぞれ残留

<東農の勝>

明治は2部に降格、東農は1部に昇格

<引き分け>

明治は1部に東農は2部にそれぞれ残留

日本体育大学

何としても勝つ

V S

専修大学

やっとつかんだチャンス

1年で落ちる訳にはいかない

明治大学

V S

東京農業大学

俺たちはツイてる

リーグ戦から1か月・・・

今年はどんなドラマが



最近4年間の成績

- '92 2部リーグ4位(3勝2敗2分)
- '93 2部リーグ2位(4勝2敗1分)
→入替戦 VS東海大
1-0で勝利し1部昇格
- '94 1部リーグ8位(1勝6敗)
→入替戦VS日本大
1-1、再試合0-0で1部残留
- '95 1部リーグ8位(1勝6敗)
→入替戦VS専修大???

予想メンバー★ひとことINTERVIEW

- 1 関修: 下級生のためにも一緒にやってきた4年生のためにも頑張る
- 2 斎藤雄史: 死ぬ気で頑張ります。スピードある攻めに負けず守り切る
- 3 田村範秀: 自分を信じ仲間を信じて日体大の為に全てをぶつける
- 4 楠美雄二: 勝たないと意味がない。リーグ出てない分、最後に頑張る
- 5 佐々木臣: 専修には負けない精神力がある。IDサッカーで勝つ
- 6 榎戸勲: 日体大の代表として、今までやってきたこと全てを出し切る
- 7 深澤哲也: 来年もやりますよ、1部で。0点に抑える
- 8 小澤寛樹: セットプレーで点を取りたい。今年は一発で決めたい
- 9 有馬兼治: 点取りますよ。リーグ戦で外しまくったから
- 10 瀧澤直樹: 絶対、勝ちますよ。もう、それだけです。どんなことしても
- 11 相川敬二: 勝ちますよ。遠目からでもシュート打ってリズム作りたい
- 12 川松隆宏: サッカー人生の一つの節目。やってきたものを全て出す
- 14 福盛田大輔: 来年も西が丘でやりたい。負けなと思います
- 16 和田晃: 来年西が丘を沸かせるのは、日体大のほかにはない!
- 17 浜口廉之: 先に点を取られないように。相手より自分達がやるだけ
- 21 島津一也: 頑張ってほしいです。関さん
- 22 藤田充基: もう味わいたくない入替戦、この1試合で終止符を打つ

95秋季リーグPLAYBACK

昨年、苦しんで苦しんで守り切った1部の座。今年は何としてでもリーグ戦で結果を残そうと、どこにも負けない練習量をこなしてきた日体大。並々ならぬ闘志を抱いて臨んだリーグ戦だっただけに、開幕、対中央大戦の開始1分にいきなりくらった混戦からの失点が、全てのリズムを狂わせてしまった。

春から好調だった得点源・小澤がケガで開幕に間に合わず、追い討ちをかけるように、開幕戦後の練習中にDFの要・楠美が鼻骨を骨折。苦しいリーグとなった。

4節、雨の古河で順天堂大に初勝利をあげ、応援団と一体になった時の日体の強さを見せたが、キャプテン・瀧澤の調子がなかなか上がらず、得点力不足のまま1勝6敗でリーグを終えた。

KEY

Point

— 惜しかったね・・・「惜しいじゃダメなんですよ」
— いけそうだったけど・・・「負けは負けですよ」
コワイくらいに真面目な選手連が多く、負けたあとの雰囲気はかなり厳しい。気持ちの切り替えができていないかが勝負。リーグ戦後合宿や練習試合をこなし、ここに来て攻撃陣の調子が上がっている。瀧澤の運動量もかなり戻ってきたようだ。そして2年前、東海大との入替戦で決勝ゴールを上げて以来『入替戦男』の異名を取る有馬の調子も上々。
「今年は1回で決める」と、皆が口を揃えて言う。攻め込まれるとつい、全員が引いてしまう悪いクセを打開できれば、面白い展開になりそうだ。

日本体育大学 VS 専修大学

最近4年間の成績

- '92 2部リーグ8位(5敗1分)
- '93 2部リーグ3位(3勝2敗2分)
- '94 2部リーグ6位(3勝4敗)
- '95 2部リーグ1位(6勝1分)
→入替戦VS日体大???

予想メンバー★ひとことINTERVIEW

- 1 高橋卓士: 運が良ければ勝つ。いつも点入れてくれるんで安心
- 2 藤沼昇二郎: 頑張りますので、声援よろしくをお願いします
- 3 菅原竜太: リーグ出れなかった悔しさをぶつけてロングシュート狙う
- 4 池田圭介: ディフェンスあまり強くないけど、FWが点取ってくれる
- 6 源平晋也: 勝つしかないです。負けたらボウズですから・・・監督が
- 7 伊藤聖: 悔いの残らないように、ガンガン動きます
- 9 立野浩: レギュラーのサポートを第一に・・・理想は決勝点入れたい
- 10 和田潤: 点取りますよ、僕が。多分。当たって砕けろ、です
- 11 真下佐登史: 置き土産に、来年の下のために、4年はやるだけです
- 12 伊藤琢矢: 日体にいる先輩・田村さんに見劣りしないよう頑張りたい
- 13 渡谷精一: 1部以上上がることが目標なので、自分の力を出し切ります
- 14 森崎真光: 応援頑張ります。出たら・・・何かしますよ
- 15 上村祐司: 上がるとかないと。一発で決めたいです
- 16 藤田恵一: 出る人には頑張ってもらいたい。来年は1部でやりたい
- 24 田草川聡: 来年は西が丘でおおう
- 28 遠藤伸明: 新年を快い気持ちで迎えられるように、頑張りたいです

95秋季リーグPLAYBACK

毎年優勝候補といわれながら、やっと初優勝を成し遂げた専修大。初戦の対東海大戦、2点を先制されながら3点を奪って逆転勝ちし、一気に波に乗った。

「ひやひやさせる試合ばかりでシミマセンでした」と真下主将も言う通り、攻め込まれる試合もかなりあったが、チャンスを確実にモノにし、簡単に点を取る。全試合得点、1試合平均は2点を上回る。真下、和田の2トップの速さに中盤の上村、遠藤が絡み、ゴールを量産する。上村はリーグ中トップの6得点をたたき出した。

KEY

Point

リーグ戦中にやっと専用グラウンドができあがった。チームの明るい雰囲気はいつも変わらない。1部には初の挑戦となるが、気負いは微塵もない。

Simple is the Best! 専修のサッカーはいつも、シンプルで速い。そして、昨年天皇杯で浦和レッズを苦しめ、今年の春、筑波大を破るなど、格上のチーム、そして一発ものに強い。「守る入替戦」を心得ている日対大の守備を崩せるか? DF・武藤のケガと、「カウンターには弱いんですね・・・」という選手の言葉に、若干の不安が覗く。

'95秋季リーグPLAYBACK

昨年、慶應大を敗って1部に昇格した明治大。春、夏は総理大臣杯で3位になるなどの活躍を見せたが、リーグ初戦で、本調子でない筑波大に3-0で敗れた。その後もGK塚本を中心にDF陣が踏ん張るが、昨年からメンバーがごっそりと抜けた攻撃陣に中心となる選手がおらず、4節までわずか1得点。しかし残り3節は、早稲田と引き分け、中央大・日体大と連勝、FWにも山田、鈴木康の1年生コンビが光明をもたらした。

KEY

Point

東農大とは、相性が悪い。3年前から公式戦では勝ちがない。第6節で中央に勝利、「でも今日勝たない方が良かったんですよえ・・・」という、DF賢田の不安が的中するとは!? 相手はほぼ慶應大と思ったイレブンは、その心理的動揺がフィールドで隠し切れるか!?

しかし、「だからこそ最後にあたりたかった」と、全てをプラスに転ずるキャプテン・小林が、チームをどこまで引っ張るか。リーグ最終戦の試合後の警告で、スーパー・賢田が出場停止となっているのが痛い。代役を務める1年生・宮崎の出来がカギを握る。

ゲンを担いで、昨年と同じ場所で合宿を行った。無欲で臨んだ昨年とは立場が違っただけに、難しい戦いとなる。

最近4年間の成績

- '92 2部リーグ3位(4勝2敗1分、得点差3による3位)
- '93 2部リーグ5位(2勝2敗3分)
- '94 2部リーグ2位(5勝2敗)
→入替戦VS慶應大
3-1で勝利し1部昇格
- '95 1部リーグ7位(2勝4敗1分)
→入替戦VS東農大????

予想メンバー★ひとことINTERVIEW

- 1 塚本秀樹: 楽しみながらやりたい。集中してプレーする
- 2 松尾昌則: 平山(農大)には負けたくない。右足のセンタリングに注目
- 3 秋定実: 失点をゼロに抑えて残りたい。気持ちで絶対に負けたくない
- 4 宮崎将人: 声を出してプレーする。コンパクトなサッカーを目指す
- 5 小林秀多: 何が何でも勝つ。しっかりとチームをまとめたい
- 6 古賀崇浩: 基本に忠実にプレーしたい。左足のキックを見てほしい
- 7 浅利悟: 今年やってきたものの全てを出して勝ちたい
- 8 宮沢克行: 決勝点に絡みたい
- 9 斉藤賢二: 入替戦もひとつの公式戦。いつも通り自分のプレーを出す
- 10 山田雅士: 得点に絡むプレーをしたい
- 11 鈴木康夫: 自分が点を取って勝ちたい
- 12 長田英二郎: 来年も1部でやりたい。絶対に負けたくない
- 13 鈴木潤: 足が痛いけど、試合に出られたら頑張る
- 14 中村令士朗: みんなの気持ちをひとつにして勝ちたい
- 15 中村龍哉: 右サイドの動きに注目してほしい
- 16 大柴克友: 学生生活最後の試合、一生懸命プレーしたい
- 17 吉沢寿治: 落ち着いてプレーしたい
- 18 瀧川崇史: 明大サッカー部は永遠に不滅だ
- 21 森堅: 塚本を万全の状態で送り出したい

明治大学 VS 東京農業大学

'95秋季リーグPLAYBACK

連勝で、例年になくいいスタートを切った東農大。昨年のレギュラーが全て抜けたDFに不安があったが、センターバックにコンバートされた佐山を中心に守りも安定、下馬評とは裏腹に、上位に進出してきた。

しかし、6節で学芸大に1-4と大敗し、最終戦で専修大に0-3から追いつく意地を見せたが、ほぼ入替戦出場は諦めざるを得なかった。そして、打ち上げも終えた翌日、慶應大が日本大に0-3で敗れたため、得点差による2位の知らせが入った(日本大の応援に行っていたのは主将だけだったとか・・・)。失点は8チーム中1番多かったが、14得点という攻撃力が、今日につながった。

KEY

Point

明治大には自信を持っている。3年前から負けなし。さらに、1度死んだと思った者は強い。最終戦、そして打ち上げで泣いた多くの選手は、「もったいなかった・・・」(久野)と照れながらも、やっとなかなかチャンスに賭ける。ケガで入替戦出場が危ぶまれていた攻撃の核・横田と、FW新井も戻り、その攻撃力が見られそうだ。カギを握るのは、やはり攻守の要・久野の出来。

昇格すれば、11年振りの1部復帰となる。「2部に落ちたのは、私達の時。コーチをやっている今年、ぜひ1部に復帰させたい」とは、山下コーチの弁。

最近4年間の成績

- '92 2部リーグ5位(2勝3敗2分)
- '93 2部リーグ6位(2勝3敗2分)
- '94 2部リーグ5位(2勝3敗2分)
- '95 2部リーグ2位(3勝2敗2分、得点差7による2位)
→入替戦VS明治大????

予想メンバー★ひとことINTERVIEW

- 1 門田誠: いただきます。試合に出ることだけです
- 2 高橋知弘: 頑張ります。以上!
- 4 平山薫: 楽しくできればいい。結果的に勝てればいい
- 5 千葉哲哉: 楽しみです。最後にキャプテンらしい所見せようかな、と
- 6 佐山勝也: 勝てたらいいと思います
- 7 牧田一幸: 長かったです、入替戦に迎り着くのが。最後の試合頑張る
- 8 横田恒: 来年1部でプレーできるよう頑張りたい
- 9 新井秀隆: 自分が点を取って、1部に上げる
- 10 久野智昭: 勝たしてもらいます。うまい酒が飲めるように
- 11 佐々木裕人: 最後なので1部が上がって引退となるように頑張りたい
- 13 横山清和: 明治には悪いけど、いい試合に、久野がしてくれるでしょう
- 17 芦田志樹: 多分僕が点入れると思うんで、ヨロシク!
- 18 平井寿哉: 明治? 先輩も後輩も友達もいるから、絶対負けたくない!
- 20 今村貴弘: 勝てるように頑張ります。頑張るだけです
- 21 長谷川紳: 失点が多いんで、点取られないように・・・必ず勝つ
- 22 牧野隆: 名前で負けないように。頑張ります。気持ちは負けてない
- 33 大竹頭: 頑張ります。後輩のために1部に上げたいと思います
- 坂田真也: 目標は・・・出ることです。点数決めたいです

入替戦

2部・都県リーグ

東海大学 (2部8位)

V S

重細重大学 (都県1位)

11:30 KICKOFF

2部リーグで、まさかの勝ち星なしで最下位となり、2部に降格して2年で都県リーグとの入替戦出場となってしまった東海大。「天国から地獄まで見てきた」(沖田)4年生を中心に、最大の修羅場をくぐりぬけることはできるか？
亜細亜大学は、関東リーグに初挑戦。東海大には9月の天皇杯予選で3-0で勝利している。傑出した選手はいないが、全員の力で最大の目標に挑む。

13:30 KICKOFF

毎年1部への入替戦に挑んで、跳ね返されてきた日本大。今年は攻撃陣のタレントが抜けたこともあって中盤がかみ合わず、チームがまとまらないままズルズルと下位を低迷してしまった。最終戦に慶應大を3-0で下し、調子は上向きつつある。

日本大学 (2部7位)

V S

こちらも関東リーグに初挑戦となる東洋大。4年生で固める守備陣と、若い攻撃陣を擁す。関東リーグにも見劣りしない技術を持っている。「4年間で一番いいチーム」と、4年生は胸を張る。

東洋大学 (都県2位)

GO ON Special Issue

Vol. 2 配布のお知らせ

12月9日(土) 駒沢陸上競技場

† 2部・都県 入替戦ガイドのほか

† 1部・2部 入替戦(12月2日)の結果詳細

† 今、明かされる都県リーグのしくみ

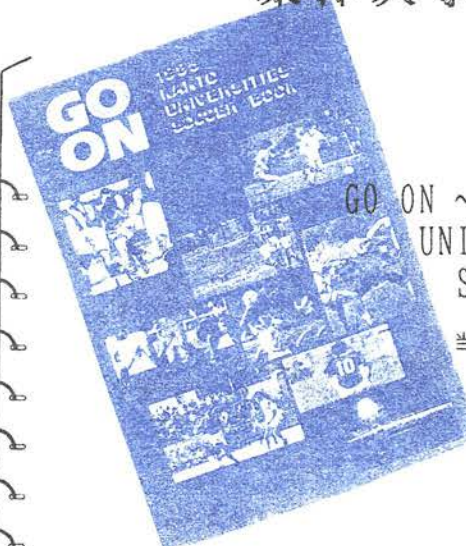
† 祝・卒業!

1・2部各大学4年生進路情報・・・など

を、予定しております。

駒沢陸上競技場へのご来場を

お待ちしております。



GO ON ~1995 KANTO
UNIVERSITIES
SOCCER BOOK~

当会場にて 好評発売中!

¥1,500

お問い合わせ⇒03-5704-3260

「GO ONプロジェクト」

入替戦

Vol. 2

編集・GO ONプロジェクト

12月2日(土) 14:00～ 西が丘

— 明暗が、くっきりと分かれた。今季、リーグ戦で無得点試合がなかった専修大が、日体大の攻撃の前に自慢の速さを見せることもないまま、西が丘を後にした。立ち上がりの2分。左サイドから榎戸が上げたセンタリングをゴール前で小澤がヘディングシュート！ 頭での得点が格段に多い小澤が、最後の試合でも頭で決めた。「僕のミス…。相手が来てるのに気づかなくて…」と専修のGK高橋が悔やんだ。昨年、同じ立場の入替戦を経験し、瀧澤主将やコーチ陣は「2試合あるということも頭に入れている」と語っていた日体大だったが、専修=攻撃、日体=守備、という予想を完全にひるがえし、後半の立ち上がりにも、リーグ戦不調のうっぶんを晴らすかのように瀧澤主将が2点目を奪い、完勝した。専修は、前線からチェックの速い日体大の前に、真下、和田の速さを発揮することができず、リーグ戦中に2列目の活躍が目立った上村の活きるスペースを作り出すことができなかった。「これが1部の底力か…」、「相手の方が上だった…。しかし、4年の池田は「初めてだから、良しとしたい。また、来年頑張ってくれるでしょう」と言い残した。そう、経験したことが大きいのだ。3年連続で入替戦に出場した日体大。「専修はいいチームだけど、僕達も負けにくいくらい走ってきた」(深沢)。「春からの苦勞が報われた」(瀧澤)。試合終了後、イレブンは応援団の中に、身を投じた。

日本体育大学				専修大学			
交代						交代	
関 修	1	GK	1	高橋 卓士			
斉藤 雄史	2		2	伊藤 琢矢			
田村 範秀	3	DF	3	菅原 竜太			
楠美 雄二	4		4	池田 圭介			
浜口 康之	5		12	藤沼 晋也			
榎戸 勤	6		6	源平 晋也			
深沢 哲也	7	MF	7	伊藤 聖			
82分 小澤 寛樹	8		8	遠藤 伸明	56分		
89分 相川 敬二	11		15	上村 祐司			
瀧澤 直樹	10	FW	10	和田 潤			
有馬 兼治	9		11	真下 佐登史			
サブメンバー							
島津 一也	21GK	GK16	藤田 恵一				
11 川松 隆宏	12MF	DF17	田草川 聡				
菅生 祐治	13DF	MF9	立野 浩	8			
和田 晃	16DF	MF14	森崎 真光				
8 水田 秀正	22DF	FW13	渋谷 精一				

日本体育大学 2
1 1
0 0
0
専修大学

得点
2分【日】小澤：アシスト榎戸
49分【日】瀧澤：アシスト有馬

攻撃は最大の防御なり・・・
明治、日体ともに1部の座を死守！！

明治大学 3
2 1
1 1
1
東京農業大学

明治大学				東京農業大学			
交代						交代	
塚本 秀樹	1	GK	21	長谷川 紳			
秋定 実	3		7	牧田 一幸			
宮崎 将人	4	DF	4	平山 薫			
小林 秀多	5		6	佐山 勝也			
松尾 昌則	2		5	千葉 哲哉			
古賀 崇浩	6		8	横山 恒和			
浅利 悟	7	MF	13	横山 清和			
宮沢 克行	8		10	久野 智昭			
鈴木 康夫	11		19	大竹 顕	46分		
78分 斉藤 賢二	9	FW	9	新井 秀聡			
山田 雅士	10		11	佐々木 裕人			
サブメンバー							
森 堅	21GK	GK1	門田 誠				
長田 英二郎	12MF	DF3	菊地 陽祐				
中村 玲士朗	14DF	MF20	今村 貴弘				
鈴木 潤	13DF	MF18	平井 寿弥	19			
9 中村 達哉	15DF	FW15	福田 博之				

得点
36分【明】鈴木康：アシスト宮沢、松尾
37分【明】宮沢：アシスト斉藤、塚本
73分【東】久野：アシスト佐々木、牧田
82分【明】松尾：アシスト浅利

12月2日(土) 14:00～ 西が丘
東農大には相性が悪く、さらにディフェンスの要である3年・賢田を警告で欠き、苦しい試合が予想された明治大。しかし東農大にも、チャレンジャー特有の勢いが見られず、立ち上がりは、両チームとも相手の出方を伺っているかのように、こう着状態が続いた。20分を過ぎた頃から、明治がいい形を作り始め、36分、松尾のフリーキックを宮沢がヘディングシュート、ポストはね返りを鈴木康がゴール。直後に、味方ゴールキックからのこぼれを宮沢が決めて、一気に波に乗った。後半、73分に明治GK・塚本の珍しいファンブルを、農大・久野がつめて1点差とし、その後農大が責め続けて「(リーグ最終戦、0-3から追いついた)専修戦が頭をよぎった」(久野)が、82分にコーナーキックから「気持ちで負けないことだけ考えた」松尾が頭で決め、明治が1部昇格を決めた昨年の入替戦と奇しくも同じスコアで1部の座を守った。勉強との兼ね合いで練習もままならなかった斉藤、「1部に残せなかったら、とっとと道具たたんで察出てた」という塚本「今日4年生が一生懸命やるのは当たり前。3年生以下が、来年につなげるためにどれだけやってくれるかと思っていただけ、みんな期待に応えてくれた」という小林以外は下級生。「来年はリーグ戦でいいゲームを見たい」。最後に、明治の井澤監督は語った。東農大は、この試合に4年生主体で臨んだ。下級生が、入替戦とは何なのかということを知ったかというなら、来年もここで緑のユニフォームが見られるのかもしれない。

入替決定方式

東海大(2部8位) V.S 亜細亜大(都県1位)

<東海の勝>

東海は関東2部に亜細亜は東京都1部にそれぞれ残留

<亜細亜の勝>

東海は神奈川県リーグに降格、亜細亜は関東2部に昇格

<引き分け>

再試合(来週中に開催)

<再試合・再度引き分け>

東海は関東2部に亜細亜は東京都1部にそれぞれ残留

日本大(2部7位) V.S 東洋大(都県2位)

<日大の勝>

日大は関東2部に東洋は東京都1部にそれぞれ残留

<東洋の勝>

日大は東京都1部に降格、東洋は関東2部に昇格

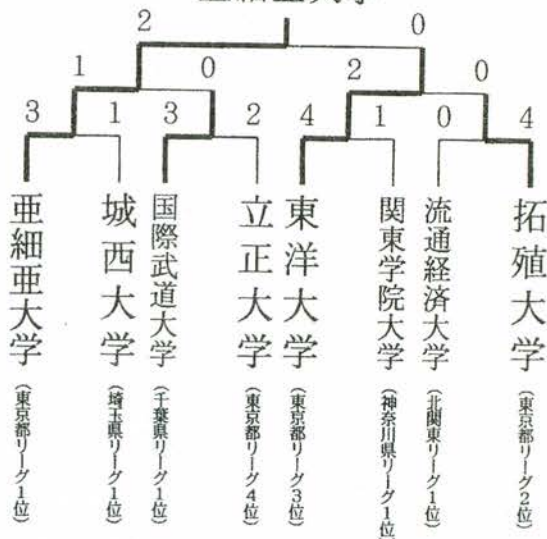
<引き分け>

日大は関東2部に東洋は東京都1部にそれぞれ残留



平成7年度関東大学サッカー大会

重編重大学



亜細亜・東洋、入替戦までの道

亜細亜大と東洋大が、今日の駒沢競技場に辿り着くまでの、長く険しかった道のりを紹介しよう。

まず、関東各都県(東京、埼玉、神奈川、千葉、北関東)ごとにリーグ戦が行なわれる。(左にある、今秋のリーグ戦の結果を見てわかるように、亜細亜・東洋ともに東京都1部リーグに所属している。)

東京都からは上位4大学、埼玉・神奈川・千葉・北関東からは各県リーグの優勝校が、11月中旬(今年は11、12、18、19日)に行なわれる関東大学サッカー大会に出場。(その結果は上記の通り。)

この関東大会において、1位と2位を決定し、それぞれが「都県リーグ」1位・2位となって、関東リーグ昇格をかけた入替戦への出場権を得、「関東2部リーグ」の8位・7位校とそれぞれ対戦する。

一昨年、東京都リーグに降格となり、昨年、関東2部リーグへの復帰を果たした法政大将博・中園忠和が「よく1年で帰ってこれた…」と語る通り、入替戦への出場権を得るまでの道のりは長い。つまり、関東リーグ所属チームにとっては、ひとたび都県リーグに降格してしまうと、再び関東リーグの舞台に戻るのには至難の業だ。

関東2部リーグの大学が敗れた場合、東海大学は13年振りに神奈川県リーグに、日本大学は東京都リーグに創部以来初めての降格となる。逆に、亜細亜・東洋はともに、勝てば関東リーグへの初の昇格となる。

今年の関東大会は、ここ駒沢公園内の第一グラウンド、第二グラウンド、そして補助グラウンドを使って行なわれた。ようやく辿り着いたメイングラウンド…選手は語る、「やっといい所でできますからね、楽しみにしてるんですよ、実は」(東洋大GK・高木)。

平成7年度第28回東京都大学サッカーリーグ 東京都1部リーグ 結果

順	亜細亜	拓殖大	東洋大	立正大	上智大	創価大	成蹊大	勝	負	分	差
1 亜細亜		0●1	4○2	3○0	1○0	4○0	1△1	4	1	1	+9
2 拓殖大	1○0		0●1	2○1	1△1	6○2	3○0	4	1	1	+8
3 東洋大	2●4	1○0		2△2	0●1	4○0	4○0	3	2	1	+6
4 立正大	0●3	1●2	2△2		2●5	7○1	4○2	2	3	1	+1
5 上智大	0●1	1△1	1○0	5○2		0●3	0●2	2	3	1	-2
6 創価大	0●4	2●6	0●4	1●7	3○0		5○2	2	4	0	-12
7 成蹊大	1△1	0●3	0●4	2●4	2○0	2●5		1	4	1	-10



東海大学

最近4年間の成績

- '92 1部リーグ5位(3勝4敗)
→入替戦 VS日本体育大
0-1で敗退し、2部降格
- '93 1部リーグ7位(1勝3敗3分)
→入替戦 VS日本体育大
0-1で敗退し、2部降格
- '94 2部リーグ3位(3勝3敗1分)
- '95 2部リーグ8位(3敗4分)
→入替戦 VS 亜細亜大???

東海大学と亜細亜大学の、今年対戦は1勝1敗。夏の天皇杯予選では、亜細亜が3-0で勝利している。東海は、今秋のリーグ戦では、開幕の専修大戦で2-0から逆転負け、リズムがつかめずに勝ち星のないままリーグを終えた。得点力に課題を残す。茨城で合宿を張り、「調整は順調。勝ちますよ」と、林主将。2部リーグに降格したのは、ほんの2年前だ。「あの時の悪夢は思い出さないぞ!!」(MF由井)。プレッシャーを感じながらも、「自分を信じて」(GK掛川)修羅場に挑む。一方亜細亜の坂下監督は、天皇杯予選の印象で、東海が入替戦に落ちてくるのではないかと予想していたという。「ただ、入替戦でウチが勝てるかどうかは別問題」(同監督)。初めて関東大会に挑み、見事優勝を飾った。守備の要は3:岡田、攻撃では9:黄川田。サイドからのオーバーラップを中心に、かなり攻撃的なチーム。4:井川、5:小島のヘディングの高さも強み。「ウチの特徴はパワーアンドヘディング」と、選手も口を揃える。試合中にも、監督の指示で臨機応変にシステムを変える。相手の弱い部分を攻め、ここぞと思えば守備の枚数さえ減らして攻撃にかかる。「目標は、関東選手権や天皇杯で格上のチームと戦うこと。上との戦いを大切に、出場するだけじゃなくて、こまめでやってきたのだという証明がほしい」(浅井主将)。証明とは、『関東リーグ昇格』だ。

東海大学 VS 亜細亜大学

亜細亜大学

最近4年間の成績

- '92 東京都1部リーグ7位
→入替戦敗退により東京都2部降格
- '93 東京都2部リーグ2位
→入替戦勝利により東京都1部昇格
- '94 東京都1部リーグ5位
- '95 東京都1部リーグ1位(4勝1敗1分)
※関東大会優勝により都県1位
→入替戦 VS 東海大???

亜細亜大学

1	GK	浅井	栄朗	4年	各務原西	12	FW	海老澤	一孝	4年	光明星園相模原
2	DF	松本	嘉彦	3年	浦和東	13	DF	山田	智	2年	帝京第三
3	DF	岡田	龍児	4年	岐阜工業	14	MF	照井	敏浩	2年	浦和東
4	DF	井川	貴司	3年	岐阜工業	15	FW	磯道	直人	2年	熱田
5	DF	小島	徹	2年	古河第一	20	MF	村松	成実	1年	久留米
6	DF	藤塚	直也	3年	久留米	21	GK	菊地	修	3年	新潟西
7	MF	平栗	厚	4年	浦和東	23	FW	大曾根	唯文	1年	日立工業
8	MF	赤尾	佳宣	2年	帝京第三	25	FW	鈴木	芳朗	1年	帝京第三
9	FW	黄川田	賢司	3年	狭山ヶ丘	27	MF	斉藤	弘次郎	1年	花咲徳栄
10	MF	田高	将光	3年	帝京第三	28	MF	斉藤	孝二	1年	浦和東
11	FW	猪瀬	直樹	2年	浦和東	31	GK	吉野	浩基	2年	武南

日本大学

最近4年間の成績

- '92 1部リーグ8位(6敗1分)
→入替戦 VS 慶應大
1-1、再試合0-1で2部降格
- '93 2部リーグ1位(4勝2敗1分)
→入替戦 VS 順天堂大
1-1、再試合0-0で2部残留
- '94 2部リーグ1位(6勝1分)
→入替戦 VS 日本体育大
1-1、再試合0-0で2部残留
- '95 2部リーグ7位(1勝3敗3分)
→入替戦 VS 東洋大???

日本大学と東洋大学は、今年7月、夏合宿先の菅平で練習試合を行なっている。「東洋とやることになるとは思わなかった」日大がバラバラのメンバーで臨んだため参考にはならないが、東洋は「何も知らない東海よりは日大とやりたかった」(伊藤監督)こと、また準決勝との連戦のため、関東大会の決勝にサブのメンバーで臨んだ。東洋も、亜細亜と同じく初の関東リーグ昇格を目指す。パラエティに富んだ球配りができる7:石塚を中心につなぐサッカーを展開する。左サイド15:坂本のオーバーラップ、高校時代にユース代表候補になった36:高原にも注目。「どちらかといえばディフェンスのチームなので、あまり大量失点はくならない。4年がディフェンスを固めて、前が若いのであれば自由にやれ、という感じ。4年間で一番いいチーム」と、中原主将も胸を張る。一方、ここ4年間1・2部の入替戦に出場していた日大は、チームがまとまらないままズルズルと下位を低迷した。リーグ最終戦で慶應大を3-0で破り、その後明治大、朝鮮大との練習試合も負けなしで、調子を上げつつある。入替戦では毎年得点力不足で泣いているだけに、先制できるかどうかのカギ。リーグ戦中にフォワードから中盤に下がったMF川村のパス出し、FW川津、榎本の得点力に、初の都リーグ降格阻止がかかっている。「甘く見てたらやられる。必死に守りますよ」と、守りの要・DF渡辺敦が、チームを締める。

日本大学 VS 東洋大学

東洋大学

最近4年間の成績

- '92 東京都1部リーグ6位
- '93 東京都1部リーグ6位
- '94 東京都1部リーグ4位
※関東大会1回戦敗退
- '95 東京都1部リーグ3位(3勝2敗1分)
※関東大会準優勝により都県2位
→入替戦 VS 日本大???

東洋大学

3	DF	横山	肇	3年	堀越	27	MF	高尾	英一	3年	磐田南
5	DF	中原	正成	4年	修徳	28	DF	興石	勉	2年	韭崎
6	DF	松川	智久	4年	保谷	35	MF	早乙女	章尊	2年	啓光学園
7	MF	石塚	浩二	4年	水取沢	36	MF	高原	則保	2年	伊奈学園
10	MF	大久保	好也	4年	下妻第一	40	DF	富田	剛史	2年	國學院久我山
15	DF	坂本	容伸	4年	葦崎	42	FW	工藤	智浩	1年	秋田商業
17	GK	高木	豊	4年	修徳	44	FW	福田	隆志	1年	大泉
18	MF	杉浦	大輔	3年	伊奈学園	47	DF	岩元	健大	1年	西武台
21	GK	加藤	博信	4年	西武台	50	FW	木村	寿彦	1年	帝京
22	MF	坂田	直樹	3年	浦和西	59	FW	藤本	篤	1年	東大和南
24	DF	飯田	昌俊	3年	七里ヶ浜	60	MF	井野場	勝哉	1年	桐光学園

※背番号、メンバーは、変更になる可能性があります。
なお、東海大、日本大のメンバーは、プログラムをご参照ください。

